

122211		千葉県		八千代市	
基金名 八千代花と緑の基金		団体名 財団法人八千代市環境緑化公社		所管部局 八千代市都市整備部 公園緑地課	
基金の組織名 造成：財団法人八千代市環境緑化公社 管理：財団法人八千代市環境緑化公社 運用：財団法人八千代市環境緑化公社 活用：財団法人八千代市環境緑化公社			代表者名 理事長 竹之内 正一		
			設立年月日 昭和62年5月19日		
連絡先 担当課・係（緑化推進班） 郵便番号：276-0046 住所：千葉県八千代市大和田新田584-1 電話：047-758-6446 FAX：047-758-6446 e-mail：hanamidori-yachiyo@jcom.home.ne.jp					
基金の設立根拠 財団法人八千代市環境緑化公社寄附行為					
特定公益増進法人等 特定公益増進法人を過去取得していたが、現在は持っていない					
基金の活動目的 市民の自発的、積極的な参加と協力を得て、緑の保全及び緑化の推進を図る。寄附行為に基づく業務方法書。					
基金の事業 1. 樹木等の植栽並びに樹木等の植栽及び緑の維持管理に対する助成 2. 緑の保全及び緑化に関する普及啓発事業 3. 緑化に関するボランティア団体等の育成及び援助 4. 八千代花と緑の基金の達成、管理及び運用 5. その他の必要な事業					
基金の造成目標 目標額 200,000 万円 目標年度 未設定 年度 設定年度 昭和62年 年度					
基金の造成実績			積立を行なわない寄付等		
公的出捐金	28,000 万円	うち取崩金額	万円	金額	万円
寄付・募金	67,173 万円	主な使途		主な使途	
その他	万円				
計	95,173 万円				
年間事業費と果実の金額（H21年度・22年度・H23年度の決算額） 上段：年間事業費、下段：基金の果実金額					
H21年度	4,089 万円	H22年度	4,164 万円	H23年度	4,105 万円
	1,305 万円		1,282 万円		1,258 万円
組織構成 基金担当課係の名称： 構成：役員(常勤) 1名 役員(非常勤) 11名 事務局 13名 計 25名			基金運用の諮問機関 名称：八千代市環境緑化公社評議員会 人数：11名 構成員：市民団体代表11名 主な諮問内容 事業計画及び予算		
刊行物 定期刊行物 機関誌 年1回 3,000部			ホームページURL ：http://members3.jcom.home.ne.jp/hanamidori-yachiyo/ その他刊行物		

基金名：八千代花と緑の基金

平成23年度事業内容(事業名、事業目的、事業対象、内容詳細)	事業費(千円)	
	全体	うち基金
1. 事業名 緑化の推進事業 事業目的 花と緑に囲まれ、安らぎと潤いのある健康的で住み良い街づくりの推進。 事業対象 一般市民 内容 市内に設置したフラワーポットに、花苗を植栽。	22,727	1,097
2. 事業名 樹木等の植栽に対する助成事業 事業目的 市民の自発的な緑化活動を支援するため、個人及び市民ボランティア団体に対して助成金を交付する。 事業対象 個人及び市民ボランティア団体 内容 生垣設置者、花いっぱい事業を行うボランティア団体に助成金を交付。	304	304
3. 事業名 緑の保全及び緑化に関する普及啓発事業 事業目的 緑の保全及び緑化に関する市民意識の高揚と、自発的な緑化活動の充実 事業対象 一般市民 内容 ①保存樹木の紹介 ②機関誌の発行、緑の講習会、コンクールの実施、緑のカーテンづくり実施等	2,606	2,606
4. 事業名 緑化に関するボランティア団体等の育成及び援助事業 事業目的 市民の自発的な緑化活動を推進するため、緑化に関するボランティア団体を育成し援助する。 事業対象 市民ボランティア団体、公共機関、自治会等 内容 花苗の配布	2,610	2,610
5. 事業名 地方公共団体からの受託事業 事業目的 八千代市から事業を受託する 事業対象 公共事業 内容 ①都市公園施設の環境整備事業 ②新川千本桜や既存の桜(古桜)の維持管理事業 ③し尿収集運搬事業 ④し尿処理施設の維持管理事業	143,196	
6. 事業名 花と緑の基金造成事業及び管理事業 事業目的 市民に寄付や募金を依頼して基金を造成しその基金を管理し運用する 事業対象 市民、企業、団体 内容 賛助会員の加入促進、寄付の依頼、募金運動	522	522
7. 事業名 汚泥等の堆肥化の調査研究事業 事業目的 緑のリサイクル事業 事業対象 一般市民 内容 し尿処理施設から発生する脱水汚泥と公園の維持管理事業から発生する落葉等を混合した有機肥料の調査研究から切り替え、樹木等の植栽やボランティア団体が行う緑化活動等に活用する堆肥づくりの実用化を図るため、堆肥づくりのマニュアルを作成する。	14	14

備考